

**MACNICA**

技術商社の、その先へ。

# 平成27年3月期 第2四半期 決算説明会

(プレゼン編)

2014年10月27日

## 目次

- I 2015年3月期 上半期の状況
- II 2015年3月期 下半期の予想
- III 当社の方向
- IV 経営統合



# I 2015年3月期 上半期の状況

## 1 マクニカグループ実績（連結）

### 2 半導体事業実績（集積回路及び電子デバイスその他）

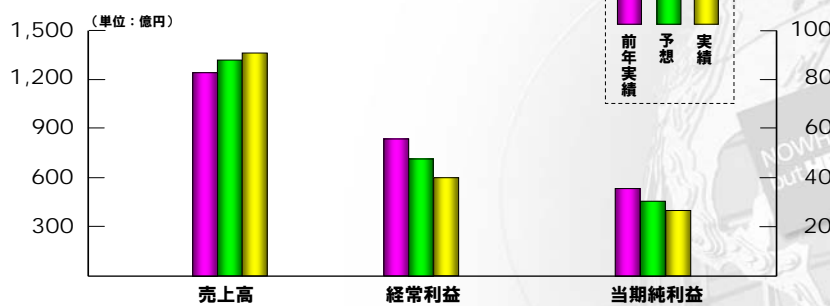
### 3 ネットワーク事業実績



## 1 マクニカグループ実績（連結）

I 2015年3月期 上半期の状況

### ① 実績



(単位：億円)

|      | 前年実績<br>(13/9) | 予想<br>(14/4/28) | 実績<br>(14/9) | 前年比  | 予想比  |
|------|----------------|-----------------|--------------|------|------|
| 売上高  | 1,245          | 1,320           | 1,376        | 11%  | 4%   |
| 経常利益 | 56             | 48              | 40           | ▲28% | ▲16% |
| 純利益  | 37             | 30              | 28           | ▲26% | ▲8%  |

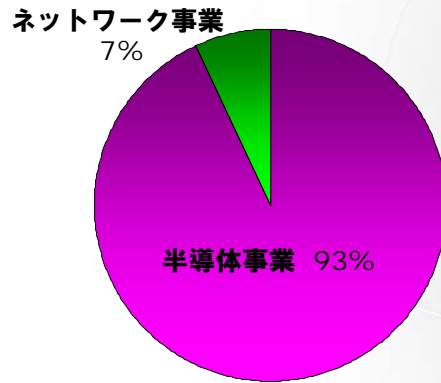


# 1 マクニカグループ実績（連結）

① 2015年3月期 上半期の状況

## ② 事業別売上高構成比

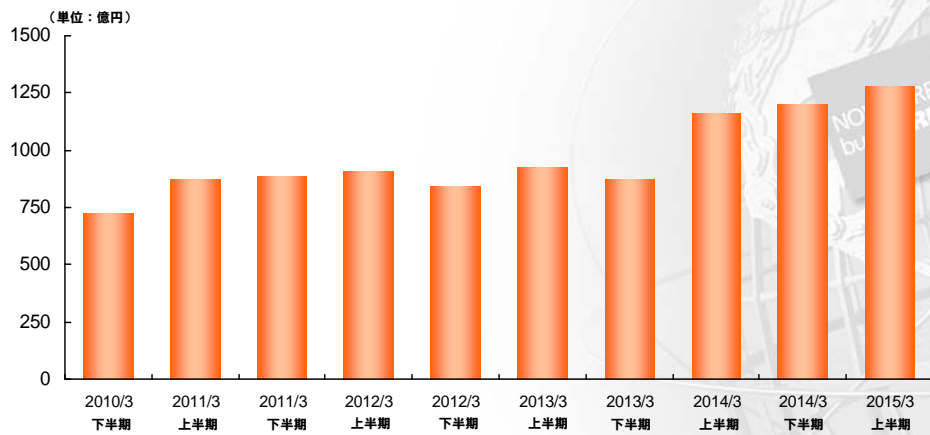
連結売上高1,376億円



# 2 半導体事業実績（集積回路及び電子デバイスその他）

① 2015年3月期 上半期の状況

## ① 半期毎売上高推移



② トピックス

売上高1,280億 前年比+11%

用途

- 車載は、北米を中心とした良好な需要環境に加え、新規ビジネスが順調に立ち上がり、引き続き拡大。
- 産業機器は、中国のセキュリティカメラ向けや、景気回復に伴う設備投資改善を背景に、総じて好調。
- コンピュータは、中国のデータセンター向けや台湾のタブレットPC向けに大きく伸長。
- 通信端末は、特定の商品のサプライチェーン変更に伴い、当社のビジネスが減少。

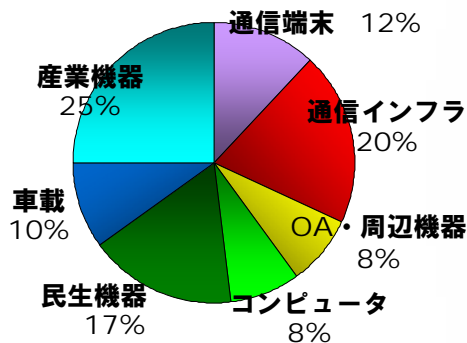
エリア

- 日系企業の海外生産移管に加え、アジアローカル市場ともに拡大傾向にあり、海外売上比率は前年比7%アップの47%へ。



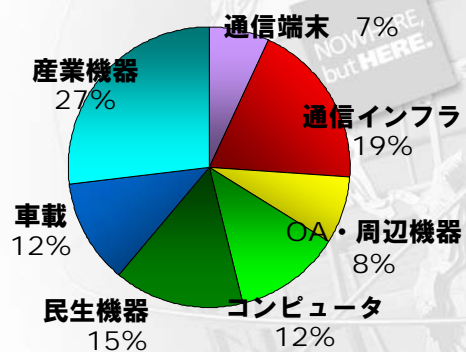
③ 用途別売上高構成比

売上高1,158億円



2014年3月期上半期

売上高1,280億円

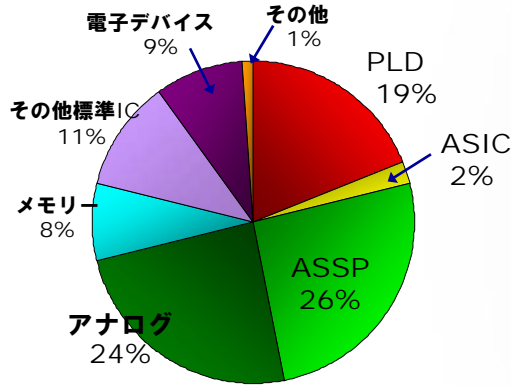


2015年3月期上半期



④ 品目別売上高構成比

売上高1,280億円



品目別前年比

| 品目      | 増減率  |
|---------|------|
| PLD     | +14% |
| ASIC    | 0%   |
| ASSP    | 0%   |
| アナログ    | +14% |
| メモリー    | +61% |
| その他標準IC | +2%  |
| 電子デバイス  | +17% |
| その他     | +12% |
| 半導体事業計  | +11% |



① 半期毎売上高推移



② トピックス

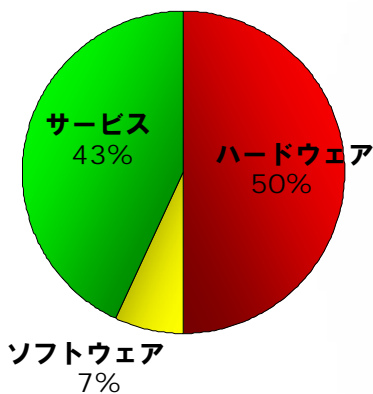
売上高97億 前年比+11%

- 用途**
- 国内IT投資の回復を背景に、官公庁や情報通信関連企業向けの標的型攻撃対策を始めとしたセキュリティ関連機器が堅調に推移。
  - キャリア向け通信ボードは需要が一巡し減少傾向。
  - 保守サービスが好調。



③ 品目別売上高構成比

売上高97億円



品目別前年比

| 品目     | 増減率  |
|--------|------|
| ハードウェア | +2%  |
| ソフトウェア | △1%  |
| サービス   | +27% |



## II 2015年3月期 下半期の予想

### 1 マクニカグループ予想（連結）

### 2 半導体事業予想（集積回路及び電子デバイスその他）

### 3 ネットワーク事業予想



13

MACNICA  
日本電産の、その先へ

## 1 マクニカグループ予想（連結）

II 2015年3月期 下半期の予想

### ① 予想

（単位：百万円）

|                   | 上半期予想   | 前年比% | 下半期予想   | 前年比% | 通期予想    | 前年比% |
|-------------------|---------|------|---------|------|---------|------|
| 売上高               | 137,620 | 11   | 132,380 | 1    | 270,000 | 6    |
| 集積回路及び電子デバイスその他事業 | 127,957 | 11   | 118,043 | Δ2   | 246,000 | 4    |
| ネットワーク事業          | 9,662   | 11   | 14,338  | 27   | 24,000  | 20   |
| 売上総利益             | 17,533  | 6    | 19,067  | 11   | 36,600  | 9    |
| 営業利益              | 4,618   | 11   | 5,182   | 21   | 9,800   | 16   |
| 経常利益              | 4,024   | Δ28  | 5,576   | 11   | 9,600   | Δ10  |
| 当期純利益             | 2,778   | Δ26  | 3,282   | 24   | 6,060   | Δ5   |



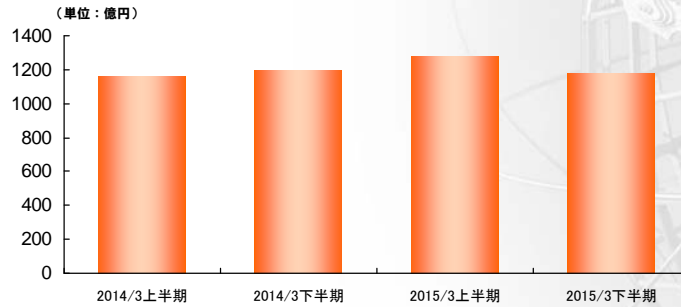
14

MACNICA  
日本電産の、その先へ

① 半期毎売上高推移

景気は回復基調にあるものの、半導体市場は弱含み。

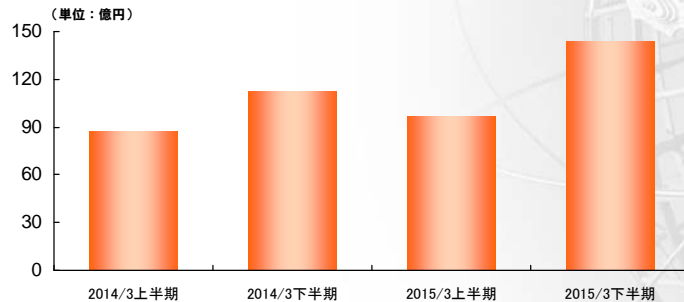
- 車載は、堅調に推移する見込み。一部中国向けなどで鈍化する予想。
- 産業機器は、一般的に好調を持続するが減速感あり。
- 通信インフラは、国内で上半期後半に失速した流れが継続し、若干の減少を予想。期後半にはLTE関連の回復や堅調な中国需要によるプラス要素あり。
- 通信端末、民生機器は、減少傾向。



① 半期毎売上高推移

セキュリティ市場は引き続き拡大傾向。

- 標的型攻撃に対応する高度なセキュリティ関連製品が拡大の見通し。
- セキュリティ市場向けの関連機器やソフトウェアは引き続き好調に推移する見込み。
- キャリア向け通信ボードは一時的な需要増により拡大の見込み。





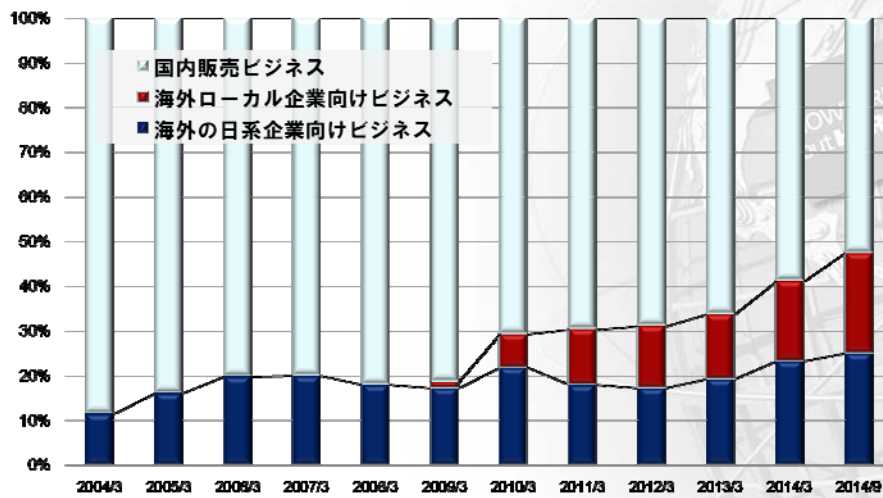
### III 当社の方向



### III 当社の方向

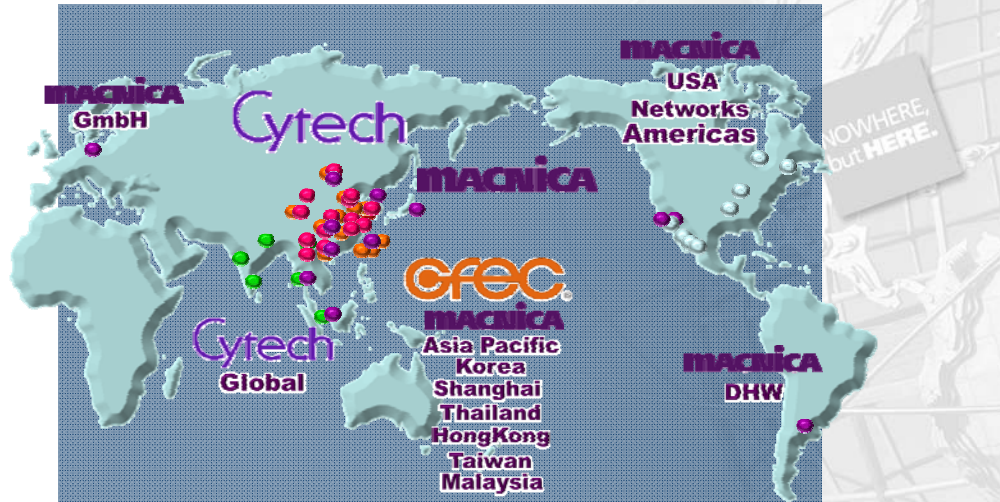
#### ① グローバルへの展開

#### ● 海外売上構成比率推移



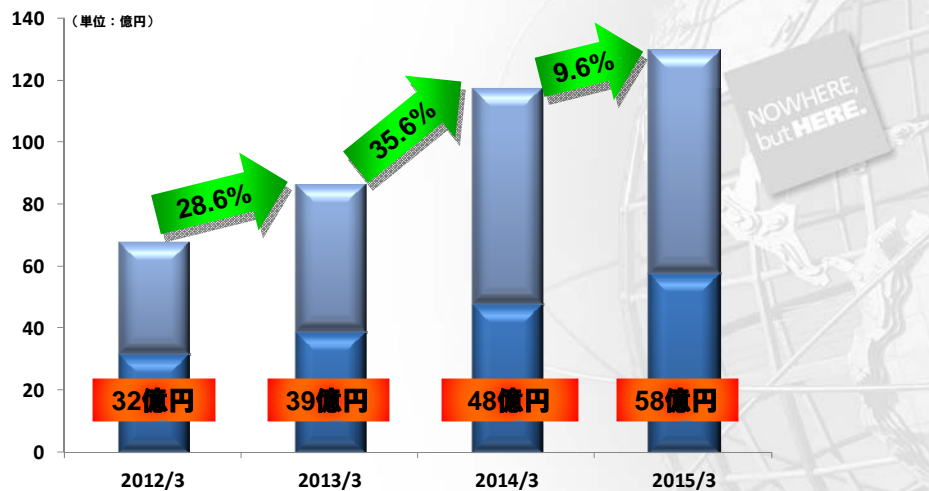
## ① グローバルへの展開

### ● 取扱商品のグローバル展開



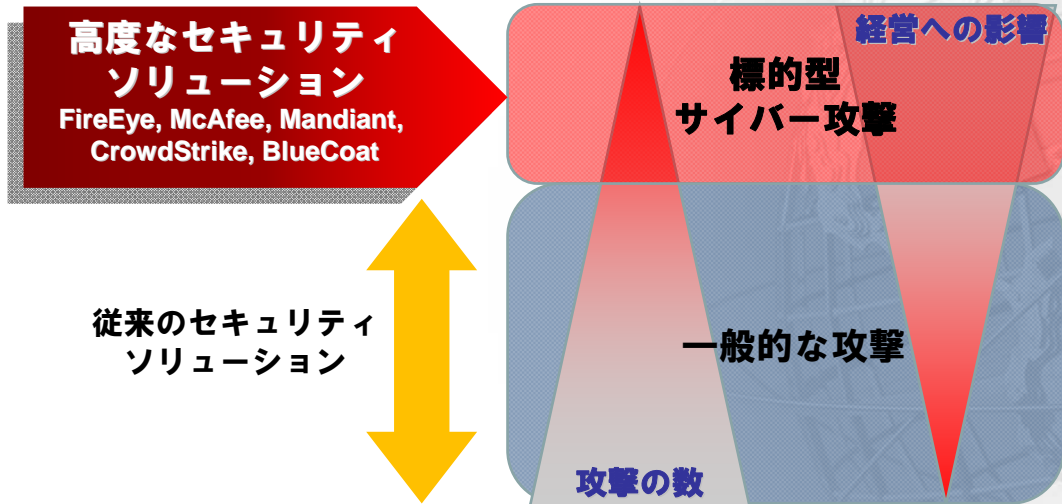
## ② セキュリティソリューションの強化

### ● セキュリティ関連事業の成長率



## ② セキュリティソリューションの強化

### ● 標的型サイバー攻撃への対策



## IV 経営統合



## 経営統合

**MACNICA**  
株式会社マクニカ



富士エレクトロニクス  
株式会社



マクニカ・富士エレ ホールディングス株式会社



## 背景・目的

## 両社を取り巻く経営環境

- 国内半導体市場の成熟化
- 半導体メーカーの統合
- 半導体商社間の競争激化
- 顧客の生産拠点のグローバル化
- 技術の高度化
- etc...

両社の事業の継続的な成長・発展のために、両社の独自性を活かしつつ各々の強みの融合により、顧客、サプライヤ双方にとって満足度の高い付加価値を提供可能な新グループ会社の創造が不可欠

対等の精神に則った経営統合

取扱商品・顧客基盤とも日本最大級の規模及び技術力を持つ独立系半導体商社



目標・効果

取扱商品・顧客基盤の拡大による成長力の強化

中堅・中小顧客に対する付加価値の高いソリューションの提供による取引の拡大

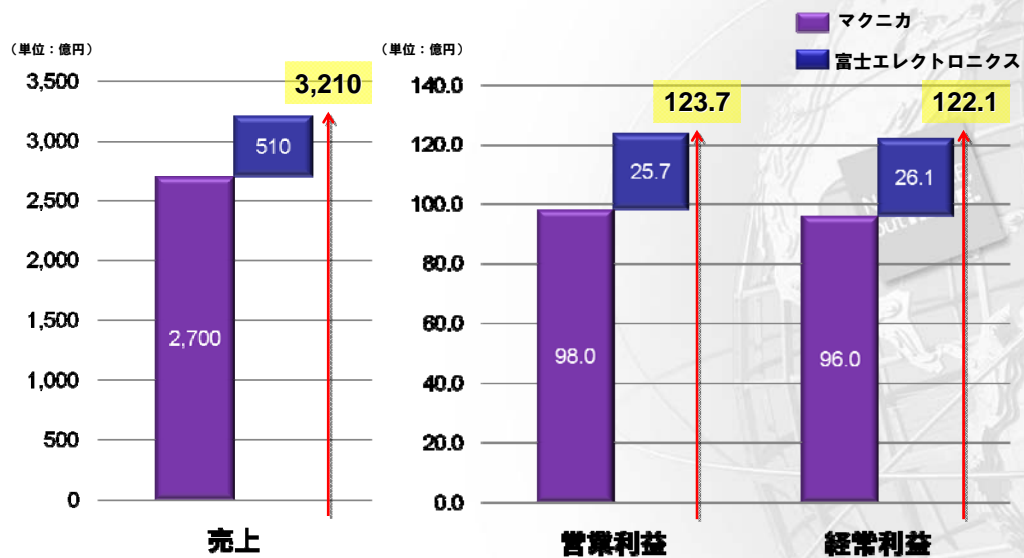
広範な顧客基盤に対して商材の拡大と充実したサービスの提供により、国内においては全ての顧客取引でトップの商社となることを目指す

情報システム、物流等の機能の効率化・合理化による生産性・経営効率の向上

組織・人材の融合による経営基盤の強化



統合後の事業規模（両社の当期業績予想数値の単純合算ベース）



## 統合会社の概要

|                        |  |
|------------------------|--|
| 名称                     | マクニカ・富士エレ ホールディングス株式会社<br>(英文社名：MACNICA FUJI ELECTRONICS HOLDINGS, INC.)   |
| 所在地                    | 神奈川県横浜市  |
| 代表者及び<br>主な役員の<br>就任予定 | 取締役会長 神山 治貴 現：マクニカ 取締役会長<br>取締役副会長 息栖 邦夫 現：富士エレクトロニクス 代表取締役会長<br>代表取締役社長 中島 潔 現：マクニカ 代表取締役社長<br>代表取締役副社長 息栖 清 現：富士エレクトロニクス 代表取締役社長 |
| 統合形式                   | 共同持ち株会社を新規設立<br>両社を株式移転完全子会社   |
| 移転比率                   | マクニカ：富士エレクトロニクス = 2.5 : 1  |
| 共同持ち株<br>会社設立日         | 2015年4月1日  |
| 決算期                    | 3月期  |



## スケジュール

|                 |                           |
|-----------------|---------------------------|
| 2014年5月22日      | 経営統合に関する覚書締結（両社）          |
| 2014年10月27日（本日） | 統合契約書締結及び株式移転計画承認取締役会（両社） |
| 2014年10月27日（本日） | 統合契約書締結及び株式移転計画作成（両社）     |
| 2014年10月28日     | 臨時株主総会基準日公告日（両社）          |
| 2014年11月11日（予定） | 臨時株主総会基準日（両社）             |
| 2014年12月26日（予定） | 株式移転計画承認臨時株主総会（両社）        |
| 2015年3月27日（予定）  | 東京証券取引所上場廃止日（両社）          |
| 2015年4月1日（予定）   | 共同持株会社設立登記日（効力発生日）        |
| 2015年4月1日（予定）   | 共同持株会社新規上場日               |

